

科目名	国際経済の動き A	科目コード	1132	単位数	3
担当者名	澤内 大輔	開講semester	第1semester	開講年次	1年次
授業の方法	講義	実務経験	無		

● 授業のねらい

私たちがふだん使っているスマートフォンの部品の多くは、海外で作られたものです。また、原油価格が高騰すると、私たちの暖房費が大幅にかさみます。現在では私たちのふだんの生活にも国際経済の動きがますます深く関わらようになってきています。本講義では、現在の国際経済の動きを理解するために必要な基礎知識を得ることを通じ、幅広い教養を身に着けること目的としています。

● 到達目標

- ・ 学生が、貿易自由化について理解し、その効果を簡潔に論述することができる。
- ・ 学生が、国際分業について理解し、その利点を簡潔に論述することができる。
- ・ 学生が、国際経済の動きに関する新聞記事やニュースを理解することができる。

● 授業内容

- 1週目 ガイダンス：私たちの暮らしと国際経済
- 2週目 国際経済学の世界
- 3週目 国際収支（1）
- 4週目 国際収支（2）
- 5週目 国際収支（3）、【第1回試験】
- 6週目 貿易自由化と保護貿易政策（1）
- 7週目 貿易自由化と保護貿易政策（2）
- 8週目 貿易自由化と保護貿易政策（3）、【第2回試験】
- 9週目 試験の講評、前半の振り返り
- 10週目 交易・特化の利益（1）
- 11週目 交易・特化の利益（2）、【第3回試験】
- 12週目 国際分業モデル（1）
- 13週目 国際分業モデル（2）
- 14週目 国際分業モデル（3）
- 15週目 国際経済の動きAの振り返り、【第4回試験】
- 16週目 試験の講評。

但し、やむを得ず、15週目までに授業内容を実施できなかった場合は、補講を行う。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習：各回講義までに講義予定部分のテキストを読み、要点および疑問点を把握・整理しておく（1時間程度）。

復習：講義ノート・テキスト等を講義を振り返り、要点を把握・整理する。また自分自身の考えをノートにまとめておく（1.5時間程度）。

● 成績評価の方法・基準

4回の試験を80%、および講義への積極的な参加を20%程度として評価します。なお、全15週のうち、11週以上授業に出席した学生を成績評価の対象とします。

● 履修上の留意点

講義に関する連絡事項はCoursePower上で行うのでその都度確認してください。なお、講義中の私語は認めません。

● 課題に対するフィードバックの方法

試験結果について個別に講評を加えて伝達します。あわせて全体の講評を行います。

● テキスト

大川良文（2019）『入門 国際経済学』（中央経済社）3,190円（国際経済の動きBと共通）

● 参考書

必要に応じてCoursePowerや講義内にて紹介する。

● 更新日付

2022/03/02 11:25